

ぶどうのカーテン取り組み情報



5月6日



7月15日



8月20日 1階の屋根まで伸びています



5月19日



8月10日 所どころにゴーヤも混ざっています
(特に中央付近)



8月20日 裏側から見たところ

お名前	芦澤 公子 (富士川町)		
設置場所	ぶどう、ゴーヤ		
カーテンの大きさ	高さ: 約 5 m, 幅: 約 8 m	取り組み年数	6年目4ヶ月

緑のカーテンの効果

- ・昨年、緑のカーテンセミナーでぶどうを2本いただき、それまで挿し木して増やしてきたぶどうと合わせて、南側はぶどうが大半で、ゴーヤは5本だけとなりました。
- ・ぶどうの葉も大きく茂り、2階まで伸びて、緑のカーテンの効果は抜群だと感じています。
- ・1階は冷房がないので、扇風機だけ。この夏は猛暑でしたが、一番暑いときは扇風機を回すだけで、涼しくなりました。朝は、ひんやり感じられるときもありました。
- ・日中家にいられるときは、なるべく庭やプランター周辺に打ち水をして、外気温を下げるようにしました。
- ・南側と北側のサッシを開けて、緑のカーテンからくる風が通り抜けるようにしました。家の中から眺める、日を透かした黄緑色のカーテンは、癒し効果たっぷりです。
- ・ぶどうは一番古い株で6年目ですが、年々実が多く付くようになっていきます。
- ・1階に冷房のない我が家では、緑のカーテンのない夏は考えられません。緑のカーテンありがとうございます。

育てる際の工夫・苦労

- ・植物の選定…ぶどう2本(ベリーA,スチューベン)は、昨年の研修会の時にいただいた物です。
古い株のぶどうは、スチューベンと山ぶどうです。スチューベンは、剪定枝を挿し木して増やしています。
今年は、挿し木して増やした苗を10本ほど、富士川町温対協メンバーで関心のある人に差し上げました。
その後の生育の様子を調査したいと思います。
- ・土作り…市販の土と生ゴミをプランターで発酵させた堆肥で最初に土作りをしました。
- ・水や肥料…ぶどうは、ほとんど水やりだけで、追肥は、化成肥料を1~2度、少量行っただけでした。
- ・病害虫対策…病害虫は付きませんでしたので、手がかかりませんでした。

感想・楽しみ方など

- ・ぶどうは全部で30房くらい実り、お盆にお供えしたり、その後少しずつ大事に味わっています。とても甘くておいしいです。
- ・緑のカーテンは大きく密に育てるのは難しいと思われがちですが、ガーデニングに関心のある方、野菜を作っている方など、いつも通りにお手入れをすれば問題なく育てられると思います。
- ・地球温暖化により、今年のような酷暑の年も増えることが予想されます。緑のカーテンは、厳しい夏を乗り切るために、わが家では欠かせない物となっています。省エネ、地球温暖化防止、視覚・味覚など五感で心地よさが楽しめる緑のカーテンに、さらに多くの方が取り組むことを望みます。